

実践活動報告の抄録記載例

「マーケティング・ミックスを活用した魚料理のメニュー開発と提供」

【アセスメント(課題の抽出)】〇〇食堂では若年層の利用が多い。対象の食堂において魚メニュー選択者の割合が少ない。

【活動の目的・目標(課題改善の目標)】〇〇食堂において、マーケティング・ミックスを活用した魚メニューの開発・提供を行い、利用者のメニュー選択に繋がるかを検討した。

【活動の具体的な方法】対象者の嗜好を把握するため、好む魚の種類・調理法・味付けに関する予備調査を実施した。その結果から商品戦略として白身魚フライをメインにした、若年層に好まれそうなハンバーガー形式のメニューを考案した。さらにプロモーション戦略として、魚の栄養情報を示したポップを食堂の机に配置、メニュー写真を掲載したポスターを職場内に掲示した。喫食者の満足度調査項目は「味」「見た目」「量」「メニューの選択理由」「今後も食べたいと思うか」とした。

【活動の実績】開発した魚メニューを、〇〇年〇月～〇月の間に1日20食限定で5日間提供した。魚メニューは、5日間で合計98名が喫食し、71名が満足度調査に回答した(回答率〇%)。「味」を良いと答えた者は87.3%であった。メニューの選択理由は「美味しそう」が44.0%、「好み」が16.0%、「ポスターを見た」が37.0%であった。「今後も食べたいと思う」と回答した者は95.6%であった。

【評価】マーケティング・ミックスを活用したメニューの考案・提供は、食堂利用者の魚メニューの選択に繋がり、さらに魚メニュー選択者の高い満足度に繋がったと考えられる。